

聖書日課 『からし種』 2019.9.22-29

<p><b>22日</b> <b>(日)</b></p> <p>申命記 5章</p>	<p>「主はこの契約を我々の先祖と結ばれたのではなく、今ここに生きている我々すべてと結ばれた」(3節)。イスラエルと結んだ契約は、今を生きる私たちにも同じように受け継がれている。十の戒めを通して、私たちに、神さまから命を与えられた「人」として生きることを示してください。命の主である神さまの祝福の内に、今週も歩みたい。</p>
<p><b>23日</b> <b>(月)</b></p> <p>申命記 6章</p>	<p>「聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である。あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」(4-5節)。私たちの命を守る神は、神と共に生きるために、いつも私たちに「聞け」と、呼びかけてくださる。そして、この呼びかけを、日々忘れないように家の入り口にも書き記し、子どもたちにも繰り返し教えるようにと命じられる。</p>
<p><b>24日</b> <b>(火)</b></p> <p>申命記 7章</p>	<p>「あなたがたがこれらの法に聞き従い、それを忠実に守るならば、あなたの神、主は先祖に誓われた契約を守り、慈しみを注いでくださる」(12節)。主の法に聞き従うということは、命を大切に生きること。主の契約は、イスラエル人の命を、主なる神が守り、慈しまれたように、私たちの命を大切に守ってください、その命に豊かな人生を備えてくださるということ。</p>
<p><b>25日</b> <b>(水)</b></p> <p>申命記 8章</p>	<p>「人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出る言葉によって生きる」(3節)。イスラエルの人たちが過ごした荒野での四十年は、主がその必要を満たし続けてくださった。食べるものも、着るものも、人生の旅に必要なものを、主は備えてくださっている。主が導いてくださる約束の地は、私たちに注がれている神の愛を知るための場所。</p>

メール配信登録メール [senfkorn.obc@gmail.com](mailto:senfkorn.obc@gmail.com)

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

<p><b>26日</b> <b>(木)</b></p> <p>申命記 9章</p>	<p>「こうして、主はあなたの先祖、アブラハム、イサク、ヤコブに誓われたことを果たされるのである」(5節)。エジプトでの奴隷という状況から助け出し、豊かな土地まで導き上ってください。神に背くイスラエルの民。何度も神は憤りながらも、イスラエルの民と一緒に荒野の旅を進んでくださる。その憐れみ深い神の愛は、私たちの歩みにも注がれていることを心に留めて</p>
<p><b>27日</b> <b>(金)</b></p> <p>申命記 10章</p>	<p>「今あなたの神、主があなたに求めておられることは何か…主の戒めと掟を守って、あなたが幸いを得ることではないか」(12-13節)。主を愛し、主に仕えるときに、私たちは、主の愛を体験することができる。主の戒めと掟を守って生きる時、命の主がその歩みに伴ってくださり、祝福に溢れた道を備えてくださっている。</p>
<p><b>28日</b> <b>(土)</b></p> <p>申命記 11章</p>	<p>「あなたたちはこれらのわたしの言葉を心に留め、魂に刻み、これをしるしとして手に結び、覚えとして額に付け…あなたの家の戸口の柱にも門にも書き記しなさい」(18-20節)。主の言葉は、命の言葉。その言葉を家にいるときにも、外にいるときも心から離さず歩めるように、み言葉(聖書)に生きるわたしとされたい。</p>
<p><b>29日</b> <b>(日)</b></p> <p>申命記 12章</p>	<p>「あなたは、自分の好む場所で焼き尽くす献げ物をささげないように注意しなさい。ただ、主が…選ばれる場所で…わたしが命じることをすべて行わなければならない」(13-14節)。自分の好む場所ではなく、主が命じられる場所で礼拝しなさい!…と命じられている。さて、主は「どこで、誰と共に、どのような礼拝をささげよ」と語りかけておられるのだろうか?</p>